

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年5月17日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100765
法人名	有限会社 コンフィアンス
事業所名	グループホーム はらら
所在地	鹿児島県鹿児島市原良2丁目10番11号 (電話) 099-210-5524
自己評価作成日	令和3年4月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年5月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

市街地に近く交通の便も良い場所にありながら、静かな環境であり、近隣には保育園、幼稚園、小、中学校、スーパーや医療機関が多く立地しており充実した生活環境にあります。
開設当初から自立支援に向けた取り組みを継続して行っており、家庭的な環境の中で、ご利用者の残存機能を活かし、職員個々がご利用者の状態を把握し、出来る事は職員付き添いのもと、出来る限り自分でしていただけるような支援を実施しています。事業者全体で、ご利用者、ご家族の思いをお聞きし、一人ひとりのご意向に沿った生活の実現を目指し、個別性のあるケアの実施に努め、日々の暮らしのお手伝いをさせて頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・学校や医療機関が近く利便性の高い場所に立地している。
- ・共用空間は広く廊下も長く運動や歩行訓練等、多目的に使用できる。空気清浄機2台設置、除菌の器械も導入している。換気の気配りや快適な室内環境が保たれている。
- ・研修会参加を奨励して、資格取得しやすい環境がある。
- ・避難訓練は年に2回。消防署立ち合いが1回。1回は自主訓練で昼夜、火災・地震を想定している。防災設備は業者が定期的に点検している。
- ・健康管理が整っている。5医療機関が往診に対応し適切な医療を受診している。
- ・「はららだより」を通じて家族との交流があり家族に喜ばれている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	玄関とフロア、目に付く場所に提示し、理念に基づいたケアの実施に努めている。	見直しした理念を玄関やフロアに掲示し、重要事項説明書にも記載している。理念に基づいてケアを実施できるように、職員会議で振り返り、話し合っ、共有し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域住民の一員として、町内会に加入し地域の高齢者の集まりや音楽会に参加している。現在はコロナ自粛中の為交流できていない。	町内会に加入している。地域行事や踊り発表会・文化祭等に参加や見物していたが、コロナ感染防止の為、地域との交流は自粛している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	相談や見学に来られたご家族に対して支援の方法や介護保険の利用について説明を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナの為、文書にて日常の活動報告をし、家族会会長や長寿あんしん相談センター、民生委員、リハビリの先生に助言や協力を頂き運営に活かしている。	コロナ感染防止の為、会議は実施していない。文書や電話で事業所の活動状況や入居者の状態・サービス内容を報告している。民生委員等のアドバイスを運営に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域交流会に参加し、運営推進会議等通して情報交換をし、協力関係を築いている又、困難な課題や疑問点については、相談を行い助言を頂いている。	市の担当者とは、窓口で困難事例等を相談し助言を貰っている。電話でも相談している。市主催の研修会に積極的に出席し、協力関係が築けるよう努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	委員会を設置し勉強会や研修への参加している。又ミーティングで拘束のないケアの工夫に取り組んでいる。又、ご家族に対しても契約時や担当者会議にて事業所の方針を説明を行い理解を頂き拘束を行わないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会を2ヶ月毎に開催し、指針の整備もしている。日々の暮らしの中で言葉遣いを含め、拘束しないケアに取り組んでいる。外出希望者には、職員が連携を取り合い一緒に散歩しながら、利用者の自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	委員会や勉強会を通して全職員が正しく理解し防止に努めている。又、職員同士の意見交換等で意識を高め、虐待が見過ごされる事の無いよう努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	内部、外部研修にて学ぶ機会を設け必要に応じ活用出来るよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時管理者又はフロア責任者より、重要事項など丁寧な説明を心掛け、理解、同意を頂き契約を行うようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族の面会時心配事や要望が無いか確認を行っている。又、利用者との普段の会話から要望を聞き出す努力をしている。</p>	<p>利用者には日常の関わりの中で意見や要望を聞いている。家族とは、面会時に積極的に声かけを行い、意見や要望を出してもらえるよう心がけている。電話でも聞いている。出された意見や要望は勉強会やフロア会議で話し合い、運営に活かせるよう努めている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>「気づきノート」を設置し、職員からの意見や提案を聞きフロア会議にて話し合い、小さな意見にも耳を傾けるよう努めている。</p>	<p>勉強会や「気づきノート」等で職員の意見や提案を取り入れている。ベッド柵を利用者が安全で使い勝手がよい様に、位置や高さ等を話し合い設置している。個々に応じたパットの種類等も考慮している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員個々の勤務状況や努力実績等の報告を受け処遇への反映を行いやりがいが持てる配慮や対応を心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年度初めに研修計画を立て内部研修を実施。又、習熟度に応じて外部研修の機会の確保に努め、学びを通し知識、技術の向上に繋がるよう支援している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>代表者はGH協議会や地域連携協議会への参加等を通して職員が同業者と交流ができるよう機会を持てるよう努めているが、現在はコロナのため参加出来ない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前に関係機関へご本人へ直接心身の状態を伺い思いが受け取れるよう努め関係づくりを行っている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居時に情報提供をして頂きそれを基にご本人やご家族からの困り事や心配事を聞けるような関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談時は、ご本人やご家族の実状や要望を考慮し、今必要としているサービスを見極め、他サービスと連携し必要なサービスを行う等臨機応変な対応を心掛けている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人にとっての日常の過ごし方を考え、やりたいことや出来ることは手伝ってもらおう等ご本人らしさを大切にし、個性や力が発揮できるよう心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月1回の広報誌等でご家族へ日常の様子を伝えている。又、ガラス越しでの面会を実施し、繋がりが途切れない取り組みをしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナの影響もあり外出、面会等、思うようにいかないが、電話やガラス越しの面会にて対応している。	近隣の店舗での買物やお喋り、馴染みの美容院、自宅への外出・外泊等、家族の協力を得ながら支援していたが、コロナ禍で外出支援ができず、電話やガラス越しの面会で対応している。キーパーソンのための面会を対応し、馴染みの関係が途切れないように支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は利用者同士の関係を把握し、利用者が孤立しないよう助け合って暮らしていけるよう配慮し、必要に応じて席替えや居室の移動を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病状の悪化や施設での対応が困難になった場合、病院や施設をご家族と相談しながら探し、行先への連絡、報告を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の言動やつぶやき等聞き取りご本人の思いに耳を傾けくみとり話し合い寄り添えるよう努めている。	夜間・入浴時の会話や何気ない日常の仕草・つぶやき等から意向や思いを把握している。家族の面会時に積極的に対話して早期の対応ができるよう努め、本人中心の支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時ご本人やご家族から聞き取りを行い、これまでの生活歴や生活環境を知りサービスに活かしていけるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身の状態の変化に応じた暮らし方が出来るよう、日々現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的なカンファレンスや「気づきシート」などを通して全職員で意見を出し合ったり、ご本人やご家族などと話し合いを行い、モニタリングを行い、それを基に介護計画を作成している。	利用者や家族と相談しながら医師・看護師、職員の意見を出し合って介護計画を作成している。毎月1回は介護計画のカンファレンスを行っている。モニタリングは3ヶ月毎に、見直しは6ヶ月毎に行っている。状況に変化があった時は、その都度見直し、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子や変化など、記録に記入し個別にケアを実施している。ご本人の言葉や気持ちをそのまま記載し、プランの見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>コロナの為、外出は中止しているが、季節の行事を開催している。又、個々の支援や時間に合わせた対応に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>近隣の様々な地域資源の把握に努め利用者が地域の中で楽しく安全に過ごせる様支援に努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人及びご家族の希望を優先させかかりつけ医を決めている。利用者にとって最善の医療を受けられるよう支援を行っている。</p>	<p>本人や家族の要望を大切に、複数の医療機関の受診や訪問診療ができる体制を作っている。歯科や皮膚科は週に1回の往診がある。個々のかかりつけ医は基本的に家族の協力を得ている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>必要に応じて、医療連携をとっている訪問看護に報告、相談を行っている。ご利用者の健康管理や医療支援に努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ご利用者が入院された際は病院の地域連携室や看護師、主治医との連携、情報交換を行い状況の把握を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居契約時、ご本人、ご家族に対してホームの方針を説明している。必要時は再度ご家族や主治医と話し合いを行い、可能な支援を行っている。</p>	<p>入所時に重度化に伴う看取りの方針を家族へ説明し同意を得ている。重度化や終末期には状態の変化がある毎に、家族の意向を踏まえ、かかりつけ医・看護師と連携し、安心して最後が迎えられるよう看取りの体制ができています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時は迅速に対応できるようマニュアル作成を行い全職員に情報共有している。また定期的に勉強会を行い現場で実践できるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署協力の下、火災、地震夜間想定を含めた消防訓練を行っている。全職員が避難誘導への対応がしっかりできるよう努めている。また運営推進会議を通して近隣の地域住民の方々へ協力をお願いしている。</p>	<p>年2回火災・地震の防災訓練を実施している。1回は消防署立ち合いで、1回は自主訓練を昼夜想定で実施している。避難場所への安全な移動等、地域住民も協力体制を築いている。備蓄は米・水・レトルト食品・缶詰等を用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いや声掛けに際してご本人の意思を尊重出来るケアを心掛け一人一人のプライバシーや尊厳を大切に行っている。また全体会議や勉強会において再確認を行い、ご利用者やご家族からの苦情があった場合は職員全体で振り返りを行っている。	個人の尊重やプライバシーの保護についてマニュアルを基に勉強会や会議を実施している。誇りやプライバシーに配慮して、トイレ介助はさりげない支援を心がけ、入浴介助は、羞恥心に気配りしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者の思いや希望を組みとれる声掛けや雰囲気作りを工夫し、自己決定が出来る様努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	可能な限り、個々のご利用者に合わせた暮らしの支援に努めている。ご本人のペースを大切に個別性のあるケアに努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご家族にも協力をもらい、着慣れた洋服等、その人らしい身だしなみの支援に努めている。また、定期的に訪問カットを依頼し利用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	定期的に嗜好調査を行い好きなものを知り、メニューに取り入れられたり、また外食やデリバリーを利用し、食事が画一的なものとならないよう工夫を行っている。	食事を楽しむことができるように献立に旬の食材やリクエスト食・彩り等に配慮して、食事を提供している。食事の形態やアレルギー等も気配りしている。行事食や弁当・ピザ・ハンバーガー等も取り入れている。もやし・の根切り・盆拭き・かたづけ等、職員と一緒にやっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考え個々に合わせた量や形態に合わせ提供している。又摂取量の記録を行い、必要に応じて経口補水液等の提供を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご利用者の状態に応じて毎食後の歯磨きの声掛けや介助を行っている。又定期的な歯科検診を行い、必要時は歯科往診を依頼、利用している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的な時間での声掛けや排泄チェックを行い、個々に合わせたペースで介助を行っている。可能な限りトイレで排泄出来るよう夜間のトイレ介助やおむつの種類の変更も行っている。	動作や表情など、小さな情報を職員全員で共有し、トイレでの自立した排泄を支援している。パットやリハビリパンツを使用している。定期的なトイレ誘導で排泄の自立に向けた支援をしている。おむつからリハビリパンツへの移行ができた事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防の為、こまめな水分補給や、献立の工夫を行っている。毎日排泄チェックを行い必要に応じて服薬の調整を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回程度入浴を行っている。入浴の順番は決めず本人の希望や体調に合わせて入浴介助の支援を行っている。	基本的に入浴は週3回となっているが、曜日や湯温などの希望を聞き、入浴剤やゆず湯等を使用し気持ち良い入浴を支援している。入浴を拒む利用者には日時・順番・職員の交代などを考慮し、声掛けを工夫し入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促し休息や安眠の確保が出来る様努めている。夜間も安心して休める様照明や室温に気を付けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬説明書を事務所に保管し、全職員がいつでも確認出来る様にしている。またご利用者の状態の経過や変化を主治医に報告し、内服調整に活かせる様努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節の行事等ご利用者の知恵や経験を発揮できる場面を作るように努めている。日々のレクリエーションや運動、誕生会、夏祭り等毎月の計画に取り入れている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご利用者の希望に応じて、体調等考慮し、近隣への散歩や買い物、ドライブ等の機会をつくっている。地域の催し物や季節の行事へも積極的に参加している。現在はコロナの為自粛している。	日々のレクリエーションや運動・誕生会等で気分転換を図っている。必要な買い物など職員が代行している。年間計画にそって行楽地に出かけていたが今季はコロナ禍のため、外出は自粛している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人やご家族の希望があればお金を所持出来る様、支援している。必要なものや希望のもの購入している。また、持っているお金を使えるように買い物の機会を作っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人やご家族の希望された場合は携帯電話の所持や使用の支援をしている。また希望に応じて手紙や電話のやりとり出来る様、支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用のフロアは清潔を保ち、居心地良く過ごせる様提供している。キッチンには、しきりは無く、音や匂いを感じたり自宅に居るような雰囲気を感じている。廊下には季節を感じられる装飾も工夫している。	共用空間は広く廊下も長く、運動などで多目的に活用している。換気をこまめに行い、清掃が行き届き利用者が快適に過ごせる環境作りに取り組んでいる。空気清浄機を設置し清潔である。浴室やトイレは温度差がないように配慮している。利用者はそれぞれの場所でくつろいでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用スペースにはソファを設置し、気分に応じて好きな場所で過ごせる様配慮をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際はご家族と相談しながら個々の馴染みのある品物を持ち込み使用して頂いている。又、室温や湿度に配慮しながら、居心地良く暮らせる様努めている。	居室は洗面台・ベッド・エアコン・タンスが設置している。家から持ち込まれた衣類やテレビ・仏壇・位牌が置かれている。家族写真を貼って、居心地よく過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共用フロアではご利用者に合わせた環境や物品配置を工夫し、安全に自立した生活が送れるよう職員全員で取り組んでいる。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない